

全国運河サミット in 日南 2012

～ 山と海、過去と未来、人と人をつなぐ運河のまちづくり ～

【プログラム】

受付	13:00～13:30
開会式	13:30～13:40
第1部	13:40～14:25

運河のまちづくり事例報告

- 遠賀堀川 (吉田浩之・福岡県中間市教育委員会)
貞山運河 (後藤光亀・東北大学大学院准教授)

第2部	14:25～15:05
-----	-------------

油津堀川運河の過去と未来の接点を語る

(語り部)

- 井上康志 (宮崎県県土整備部次長)
岡本武憲 (日南市教育委員会文化生涯学習課長)

(休憩)	15:05～15:15
------	-------------

第3部	15:15～16:45
-----	-------------

対談：「世界の中の堀川運河-運河と暮らすまちづくり」

(講師)

- 篠原 修 (東京大学名誉教授・油津地区都市デザイン会議委員長)
伊藤 毅 (東京大学大学院教授)

(コーディネーター)

- 高尾忠志 (九州大学特任助教)

全国運河サミットin日南2012宣言

閉会式	16:45～16:50
-----	-------------



遠賀堀川：

遠賀川の治水対策、灌漑用水、水運路として江戸時代前期に開削された。明治時代は筑豊炭田の重要な輸送路となった。



貞山堀（運河）：

江戸時代初めに水上交通の便を図るため、伊達政宗によって開削された日本最長である約60kmの運河。



市民参加風景

日時：
平成24年11月9日(金)
13:00～16:50

場所：
ホテルシーズン日南

〒887-0012 宮崎県日南市園田3-11-1
TEL 0987-22-5151/FAX 0987-23-9588

主催：日南市・日南市教育委員会 主管：全国運河サミットin日南実行委員会

後援：宮崎県・宮崎県教育委員会

全国町並み保存連盟・全国近代化遺産活用連絡協議会・全国文化的景観地区連絡協議会
公益社団法人 土木学会

協賛：日南商工会議所・日南市観光協会

お問い合わせ：全国運河サミットin日南事務局（日南市建設部建設課計画係） TEL 0987-31-1168/FAX 0987-31-1193

定員300名
入場無料

※参加申込みが必要です。
日南市HPよりお申込み
お願いします。

全国運河サミット in 日南 2012

～ 山と海、過去と未来、人と人をつなぐ運河のまちづくり ～

第1部 「運河のまちづくり-事例報告」

遠賀堀川と貞山運河は、ともに江戸時代に治水や物流のために開削されたが、かつての役割を終えた現在、地域の歴史を示すシンボルとして広域市町村連携によるまちづくりで再生されようとしています。とりわけ、貞山運河は東日本大震災で大きく被災しましたが、各運河の現状と課題を報告いただきます。

事例発表1・「遠賀堀川」(福岡県)(吉田浩之・福岡県中間市教育委員会)

事例発表2・「貞山運河」(宮城県)(後藤光亀・東北大学大学院准教授)

第2部 「油津堀川運河の過去と未来の接点を語る」

日南市油津地区堀川運河の再生事業の背景、経緯および取り組み等を振り返り、その歴史的価値や事業に携わってきた市民、職人、行政、専門家等の協働と連携、そして堀川運河再生事業によって新たに生み出された価値等について、長年本事業に携わってきた宮崎県と日南市の担当者が語り部となって紹介します。

第3部・対談 「世界の中の堀川運河-運河と暮らすまちづくり」

長年に亘り、日南市油津地区堀川運河の再生事業に携わってこられた篠原修教授と世界の運河を通じて都市建築を研究されている伊藤毅教授によるトークセッションでは、世界史からみた堀川運河の価値や将来へと継承されていくべき水辺空間を今後のまちづくりへいかに活用していくべきか、等について会場の皆さんとともに語っていただきます。



講師

篠原 修

(しのはら おさむ)

土木設計家・東京大学名誉教授

1945年栃木県生まれ、神奈川県育ち。

東京大学工学部土木工学科卒業。同大学院修士課程修了。

東京大学農学部助教授、同工学部助教授等を経て、東京大学工学系研究科教授(社会基盤学専攻)、政策研究大学院大学教授、東京大学名誉教授。現在に至る。

専門は、景観デザイン、設計・計画思想史。

主な著作に「土木景観計画」(技報堂)、「土木造形家百年の仕事」(新潮社、土木学会出版文化賞)、「土木デザイン論」(東京大学出版会、土木学会出版文化賞)、「都市の水辺をデザインする-グラウンドスケープ群団奮闘記」(編共著、彰国社)、「新・日向市駅」(編共著、彰国社)など多数がある。

主なプロジェクト(設計指導、監修)に中央線東京駅高架橋(東京都、土木学会デザイン賞優秀賞)、龐大橋(福岡県、土木学会デザイン賞優秀賞、田中賞)、津和野川護岸・広場(島根県、土木学会デザイン賞優秀賞)、日向市駅・駅前広場(宮崎県、国土交通省鉄道局長賞、ブルネル賞、BCS賞、建築九州賞作品賞、優良木造施設林野庁長官賞)、日南市油津地区堀川運河(グッドデザイン賞)などがある。2002年より「油津地区都市デザイン会議」委員長を務めている。



講師

伊藤 毅

(いとう たけし)

東京大学大学院教授

1952年 京都府生まれ。

東京大学工学部建築学科卒業。同大学院修士課程修了。

東京大学工学部建築学科助手、同工学部助教授、コロンビア大学客員研究員等を経て、東京大学大学院工学系研究科教授(建築学専攻)。現在に至る。

専門は、都市建築史。

主な著作に「近世大坂成立史論」(生活史研究所、日本建築学会奨励賞受賞)、「江戸の広場」(編共著、東京大学出版会)、「水辺と都市」(編共著、山川出版社)、「都市の空間史」(吉川弘文館、建築史学会賞受賞)、「町屋と町並み」(山川出版社)、「バステードフランス中世新都市と建築」(彰国社)、「伝統都市」(編共著、東京大学出版会、日本建築学会賞受賞)など多数がある。

主な研究プロジェクトにはバステード(フランス)、本郷(東京)、沼地研究会(オランダ・フリースラント州、イタリア・ベネト地方、フランス・ラングドック・ロヴェランス地方)、佐渡研究会・佐渡相川文化的景観調査、葛飾区柴又帝釈天を中心とする文化的景観調査などがある。



コーディネーター

高尾 忠志

(たかお ただし)

九州大学特任助教

1977年生まれ。博士(工学)。東京大学大学院修了後、(株)アトリエ74建築都市計画研究所を経て、2004年から現職。専門は景観、地域計画、土木デザイン。

主な著書に「風景のとらえ方・つくり方」(共著、共立出版)、「景観用語典増補改訂版」(共著、彰国社)等がある。

主なプロジェクトに「由布院 潤いのある町並みの再生」(大分県、土木学会デザイン賞奨励賞)、「五島市 文化的景観の活用と持続」(長崎県)等があり、官民の協働体制による地域資源を活かしたまちづくりプロジェクトのコーディネータを各地で務めている。2012年より「油津まちづくり会議」委員、同WGチーフ、「日南活性化ネットワーク」コーディネータを務めている。

関連イベント

全国運河サミットの関連イベントとして、「キャナルマルシェ」と「オビダラ館」を11/10(土)、11/11(日)に開催される「油津堀川まつり」に併せ、「堀川夢ひろば」にて実施します。

●キャナルマルシェ

堀川運河沿いにある「夢ひろば」において、食事や買い物が楽しめるスペースで、三大運河といわれる北海道小樽市の小樽運河、愛知県半田市の半田運河、宮崎県日南市の堀川運河それぞれの御当地食材をコラボさせたレストランや各地の特産品の販売、フリーマーケットなどを行います。

●オビダラ館(オビダラとは、飢肥杉ダラケの略です。)

楽しみながら、懐かしみつつ、新しい飢肥杉と向き合ってもら「場」です。飢肥杉製の家具やギフト商品、遊具、おもちゃ、オビータくんショー等があります。



堀川夢ひろばでのマルシェの風景